

(公財)千葉県文化振興財団設立40周年記念・千葉県文化会館リニューアルオープン記念
千葉県少年少女オーケストラ結成30周年記念



千葉県少年少女オーケストラ

第30回定期演奏会

令和8年

3.29(日) 14:00開演 千葉県文化会館 大ホール
13:00開場

ベートーベン 交響曲第9番 二短調 Op.125「合唱付き」



指揮
下野 竜也

©Shin Yamagishi

ソプラノ
木下 美穂子

メゾソプラノ
林 美智子

テノール
福井 敬

バス
妻屋 秀和

合唱
新国立劇場合唱団



©Yoshinobu FUKAYA



©Toru Hiraiwa



@takafumi ueno



@NHKSO

管弦楽：千葉県少年少女オーケストラ

音楽監督：佐治薫子



[全席指定] (税込) 2,000円 学生1,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※障がい者の方の介助者様1名は無料でご鑑賞いただけます。

(千葉県少年少女オーケストラ事務局へお問い合わせください。)

[プレイガイド]

■インターネット予約 <https://www.cbs.or.jp> (画面上でお席をお選びいただけます)

■千葉県文化会館 043-222-0201

■千葉県東総文化会館 0479-64-2001

■千葉県南総文化ホール 0470-22-1811

■青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

■伊藤楽器管楽器工房マイスター船橋 047-495-3000

主催：千葉県／公益財団法人千葉県文化振興財団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人
千葉県文化振興財団



文化庁

【お問い合わせ】千葉県少年少女オーケストラ事務局 TEL:043-222-0201 (千葉県文化会館内)

下野 竜也 (指揮) Tatsuya SHIMONO, Conductor

NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団首席客演指揮者、広島ウインドオーケストラ音楽監督、広島交響楽団桂冠指揮者。鹿兒島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール、2001年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内主要オーケストラに定期的に招かれる一方、チェコ・フィル、バルセロナ響をはじめとした国際舞台でも活躍。オペラにおいても新国立劇場、二期会、日生劇場をはじめ注目の公演に招かれている。これまでに読売日本交響楽団正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、広島交響楽団音楽総監督を歴任。洗足学園音楽大学、東京藝術大学、東京音楽大学にて後進の指導にあたる。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽奨励賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞など受賞多数。

木下 美穂子 (ソプラノ) Mihoko KINOSHITA, Soprano

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修了。小澤征爾指揮「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィーラでデビュー後、『椿姫』『蝶々夫人』『トスカ』題名役等日本のみならず欧米で主要な役を演じて国際的評価を得る。近年では新国立劇場「ホフマン物語」アントニア、二期会「ドン・カルロ」エリザベッタ、びわ湖ホール「死の都」マリー等を演じる。マゼール指揮トスカニーニ・フィル日本公演では世界的巨匠からも絶賛された。リチア・アルバネーゼ・ブッチーニ国際声楽コンクール第1位、出光音楽賞等多数受賞。東京藝術大学准教授。二期会会員

林 美智子 (メゾソプラノ) Michiko HAYASHI, Mezzo-Soprano

新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミトロプーロス声楽コンクール最高位、第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。兵庫県立芸術文化センターや新国立劇場等を中心に数多くのオペラに出演、最近では演奏活動の他、モーツァルトの歌劇「ドン・ジョヴァンニ」三部作をプロデュースするなど幅広く活動を行っており、人気、実力ともに日本を代表するメゾ・ソプラノ。CDは「地球はマルイゼ〜武満徹:SONGS〜」など3枚をリリース。大阪音楽大学特任准教授及び日本大学芸術学部声楽講師。

福井 敬 (テノール) Kei FUKUI, Tenor

国立音楽大学卒業。同大学院修了後、文化庁オペラ研修所を経て渡伊。二期会「ラ・ボエーム」でデビュー以来群を抜く輝かしい声と卓越した表現力で長きにわたり日本を代表するテノールとして活躍。「トゥーランドット」カラフをはじめ「オテロ」「パルシファル」などの表題役で高評価を得る。メータ指揮ウィーン・フィル「第九」など数々の公演の成功に寄与。第65回芸術選奨音楽部門文部科学大臣賞、第9回出光音楽賞、第33回エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞など多数受賞。国立音楽大学教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員

妻屋 秀和 (バス) Hidekazu TSUMAYA, bass

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。ライプツィヒ歌劇場、ワイマールのドイツ国民劇場の専属歌手をつとめたほか、これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ等に出演。日本でもその深みのある柔らかな歌声と重厚な演技で新国立劇場、びわ湖ホール・プロデュースオペラ、佐渡裕プロデュースオペラやオーケストラ・コンサート、宗教曲のソリストとして活躍を続けている。

新国立劇場合唱団 (合唱) The New National Theatre Chorus

新国立劇場は、オペラ、バレエ、ダンス、演劇という現代舞台芸術のためのわが国唯一の国立劇場として、1997年10月に開場した。新国立劇場合唱団も年間を通じて行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を開始。新国立劇場で上演されるシーズン公演の出演に加え、2007年からは劇場外からの出演依頼の声に応じて外部公演への出演を開始した。個々のメンバーは高水準の歌唱力と演技力を有しており、合唱団としての優れたアンサンブル能力と豊かな声量は、国内外のメディアからも高い評価を得ている。

千葉県少年少女オーケストラ (管弦楽) The Chiba Prefecture Youth Orchestra

1996年に佐治薫子氏を音楽監督に迎え、都道府県レベルでは全国初の少年少女によるオーケストラとして結成され、30年目を迎えた。団員は10歳から20歳までの160名で「よい音で、よい演奏を」をモットーに、土曜・日曜を利用して、県内各地から千葉県文化会館に集まり練習に励んでいる。

演奏活動は定期演奏会、地域演奏会や招待演奏など、県内外で数多く行っているほか、海外での公演、テレビ番組にも多数出演。

2009年、これまでの活動が評価され、団体としては初めて「文化の日千葉県功労者表彰の文化功労」を受賞。

2019年3月24日に実施した東京公演では、秋篠宮眞子内親王殿下並びに佳子内親王殿下のご臨席を賜り、サントリーホールにおいて初めての単独公演を行った。2024年3月31日には井上道義氏との最後の共演となった第28回定期演奏会を東京芸術劇場において開催。

2025年3月30日に千葉市民会館において第29回定期演奏会を、翌日31日にはサントリーホールにおいて東京公演を、それぞれ指揮に下野竜也氏、バイオリンソロにレイ・チェン氏を迎えて開催するなど、益々充実した活動を続けている。

佐治 薫子 (音楽監督) Shigeko Saji

1935年木更津市生まれ。1956年千葉大学教育学部音楽科卒業、同年君津市立松丘中学校勤務。リード合奏の指導に情熱を傾け、バッハの音楽を中心に演奏活動をし、「山の中のバッハ」のタイトルで全国放送される。

1966年から船橋市立前原小学校へ転任。リード合奏からオーケストラ音楽への指導に専念。1976年に習志野市立谷津小学校へ転任し、1984年から市川市立鬼高小学校へ転任した。最後の4年間は再び谷津小学校で過ごし、1996年退職。教職40年間をひたすら音楽教育に情熱を傾け、その間40数回も子ども達を全国優勝に導いている。

退職後1996年4月1日からは、千葉県少年少女オーケストラ音楽監督に就任した。2006年4月放映のNHK「にんげんドキュメント ～がんこ先生とぼくらのハーモニー～」では、音楽に情熱を傾ける姿が反響を呼び、2009年10月に再放映された。2007年2月には千葉テレビ「佐藤しのぶ出逢いのハーモニー」に単独出演(2010年3月1日に再放映)、また2009年9月には、NHK-BS2の「どれみふぁワンダーランド」の「匠の技」コーナーにおいてその指導法が紹介されるなど、テレビ・ラジオにも出演している。



GREEN PRINTING JAPAN
P-010059

この印刷物は、環境に配慮した製材と工場での製造されています。



HPからも
アクセス
できます!!



(公財)千葉県文化振興財団 公式ページ
<https://www.cbs.or.jp/>